

事業名	〇〇と××の◇◇事業				
事業区分 (該当する事業に☑)	☒ 民間団体提案型事業 ☐ 施策推進公募型事業 テーマⅠ:つながる「居場所」づくり事業 ☐ 施策推進公募型事業 テーマⅡ:地域における 18 歳以上のヤングケアラー支援事業 ☐ 施策推進公募型事業 テーマⅢ:障がいのある方の文化芸術アーティスト挑戦創出プロジェクト ☐ 施策推進公募型事業 テーマⅣ:地域における子ども食堂支援機関ネットワークモデル事業 ☐ 施策推進公募型事業 テーマⅤ:ひきこもり支援に関する居場所等の社会資源の創出モデル事業 ☐ 施策推進公募型事業 テーマⅥ:地域における多職種連携による相談支援モデルの開発				
事業実施期間	令和 7 年 4 月 1 日 ~ 令和 8 年 3 月 31 日				
事業の主な実施場所	所在地	大阪市中央区大手前3-2-12			
	名 称	●●会館			
事業の参加予定人数 (※延べ人数)	合 計	70 人	左記人数 内訳	①自団体役職員・ 自団体職員/スタッフ・自団体会員	20 人
				②自団体以外のボランティア	40 人
				③上記以外	10 人
事業にかかる 現状と課題	(申請する事業について、制度や施策などを踏まえたうえで、どのような現状(実態)にあるのか、さらに、その課題は何かを記入してください。)				
事業の対象者等	(この事業の対象者を記入してください。)				
事業目的および 事業概要	(どのような目的でどのような事業をするのか、簡潔にまとめて記入してください。)				
	※ 本事業は 以下に該当するため申請します。(該当する□に☑。複数可) ☒ 先駆的、先導的及び発展性のある事業 ☐ 制度の谷間であるため、支援が行き届いていない人を支援する事業 ☒ 制度が十分に機能していないため、支援が行き届いていない人を支援する事業				

記入上の注意事項等

【事業名】

- ・事業内容がわかる簡潔な事業名を記入してください。

【事業区分】

- ・申請する事業区分の□に✓(チェック)を記入してください。(クリックすると入力されます。)

【事業実施期間】

- ・助成対象期間は、原則単年度(令和7年度)限りです。申請事業の開始時期は令和7年4月1日以降とし、令和8年3月31日までに終了するよう設定してください。

【事業の主な実施場所】

- ・申請事業の主な実施場所について、所在地と名称を記入してください。

【事業の参加予定人数】

- ・事業参加予定人数(延べ人数)について記入してください。また、「①+②+③=合計」となるよう人数の内訳を記入してください。

【事業にかかる現状と課題】

- ・事業にかかる現状と課題について、制度や施策などを踏まえたうえで、どのような現状(実態)にあるのか、またその課題は何かを具体的に記入してください。

【事業の対象者等】

- ・事業の対象者等…直接的だけでなく間接的に事業の恩恵を受ける方についても記入してください。

【事業目的および事業概要】

- ・事業目的および事業概要…この事業を実施することで対象者や地域の課題がどのように改善するのか。事業が広域的、先駆性または必要性・重要性のある事業であるかを簡潔にまとめて記入してください。また、該当する項目の「□」にチェックしてください。(クリックすると入力されます。(複数選択可))

- ☐ 先駆的、先導的及び発展性のある事業
- ☐ 制度の谷間であるため、支援が行き届いていない人を支援する事業
- ☐ 制度が十分に機能していないため、支援が行き届いていない人を支援する事業

【審査項目】

- ・広域性:地域福祉課題の解決に向けた広域的な事業であるか。
- ・先駆的:新しい活動スタイルを生み出そうとする活動か。そのための創意工夫があるか。
- ・必要性・重要性:制度の谷間、または制度が十分に機能していないため、支援の必要性、重要性の高い事業であるか。

記入上の注意事項等 (申請事業内容ロジックモデル)

1 プロセス

- ・事業に必要な人材確保や情報収集の方法
- ・地域や他団体との連携・協働の予定事業。また連携の有効性、実効性
実体性があり実施の可能性が高い事業か。計画の修復性があるか
- ・費用対効果が計れるか

【記入ポイント】「R7 交付申請の手引き」に記載の審査項目(民間団体提案型事業は P26・
施策推進公募型事業は P38)を踏まえて、箇条書きで記入してください。

【記入の注意事項等】

- ・どのような事業を計画しているのか具体的に、箇条書きで記入してください。
- ・十分な実施体制(専門知識のあるスタッフやボランティア等の確保、必要な情報や課題の共有、必要な資源等)により事業を実施できるのかを記入してください。
- ・地域住民、他の団体や関係機関、関係者との連携、協働による事業であるのか。(関係機関等が未定であっても、可能な限り記入してください。)
- ・具体性と実施の可能性が高い計画であるか、また実施の途中で計画の修復が行えるか記入してください。
- ・費用対効果を計れる計画となっているか。

【審査項目】

- ・連携・協働:地域住民や、他の団体や関係機関、関係者等との連携・協働による事業で、その連携等について有効性や実効性のある事業であるか。
- ・実施可能性:具体性があり、実施の可能性が高い事業計画か。
- ・費用対効果:費用対効果の高い効率的・効果的な手法により実施できるか。費用対効果を計れる計画となっているか。



2 アウトプット (結果の整理)

- ・何が産み出されたか
- ・何を提供できたか

【記入ポイント】「R7 交付申請の手引き」に記載の審査項目(民間団体提案型事業は P26・
施策推進公募型事業は P38)を踏まえて、箇条書きで記入してください。

【記入の注意事項等】

- ・量的な指標を達成したことがわかり、計画通りに事業を実施することで何が産み出されるのか、対象者等へ何を提供できるか、事業の量的指標(いつ・どこで・何を)を記入してください。



3 アウトカム (成果)

- ・個人・団体・地域が得られる成果
- ・短期、中期、長期ごとの成果

【記入ポイント】「R7 交付申請の手引き」に記載の審査項目(民間団体提案型事業は P26・
施策推進公募型事業は P38)を踏まえて、箇条書きで記入してください。

【記入の注意事項等】

- ・事業を実施することで、個人や団体、地域が得る成果(意識、行動、環境等)を具体的に記入してください。

【審査項目】

- ・事業評価:事業成果を評価できる内容となっているか。



4 インパクト（波及効果）

・成果を府民、地域、社会へ還元できるか

【記入ポイント】「R7 交付申請の手引き」に記載の審査項目（民間団体提案型事業は P26・施策推進公募型事業は P38）を踏まえて、箇条書きで記入してください。

【記入の注意事項等】

・事業の成果が府民へ還元されるものか、他の地域や社会へ波及するか、また、短期・中期・長期の時系列の効果についても記入してください。

【審査項目】

・波及効果：事業成果を実施団体のみで完結させるのではなく、広く府民に還元されるものであるか。



5 助成期間終了後の活動

・発展していく事業か。助成事業終了後の継続

【記入ポイント】「R7 交付申請の手引き」に記載の審査項目（民間団体提案型事業は P26・施策推進公募型事業は P38）を踏まえて、箇条書きで記入してください。

【記入の注意事項等】

・どのように事業を継続、発展させていくかについて、その方法、財源等について具体的に記入してください。
・一過性ではなく、事業終了後の継続を視野に入れた体制を整えているか。

【審査項目】

・発展性：一過性の活動ではなく、今後、発展していく可能性がある事業であるか。
・事業継続性：助成事業終了後においても、事業継続の能力及び意向があるか。

申請事業スケジュール（「事業内容」について、スケジュールを四半期ごと記入してください。）

令和7年4～6月	
7～9月	
10～12月	
令和8年1～3月	